

## 留学報告書 II (留学生)

塾内在籍高校・学年(派遣時)	慶應義塾女子高等学校
留学先高校名	The Taft School
留学期間	2015年 9月から 2016年 6月まで

<入力は日本語/英語のどちらでも構いません>

### 1年を振り返って

#### どのようなことを期待して渡航しましたか？

トップレベルの生徒に囲まれて日々勉学に励むことができること。

#### 留学を終えて、期待どおりの生活を過ごせましたか？ 留学先の良かった点・悪かった点も教えてください。

期待をはるかに超える生活ができました。Taftのいいところを挙げればキリがないですが、私は先生方の面倒見の良さに一番感動しました。キッチンスタッフの方から事務室の方、パッケージルームの方まで皆さん優しく、生徒のことを第一に考えています。廊下ですれ違うと必ずHelloと挨拶し、ボーディングスクールならではの一つの大きなcommunityとしての意識がとても強かったです。特に寮に住んでいる三人のDorm Parentsの先生方には毎日とてもお世話になりました。夜遅くまで課題をやっている時も、大丈夫？頑張りすぎないでね、といつも優しく声をかけて下さったり、何か寮で問題があってもすぐに駆けつけてくださったりしました。生徒の間でTaftの問題点として話題に挙がるのは、ボーディングスクールという特殊で閉鎖的な空間(Taft Bubble)にいることにより、自分たちがどれだけ恵まれた環境で勉強できているかということをお忘れがちになったり、社会で起きている時事問題に疎くなったりすることです。

#### 課外活動は何をしていましたか？

秋はVolunteeringで週二回、バスでWaterburyの児童館のような施設に行き、小学生の宿題や理科の実験などを手伝いました。冬は初めてアイスホッケーに挑戦し、春はラクロスをしました。

#### 寮の食事はいかがでしたか？

おいしかったです。ベジタリアンやグルテンフリーのオプションも常にあります。また、メキシカンデーやジャマイカンデーなど、さまざまなイベントがあつたりと飽きる事もほとんどありませんでした。特に春は外でのバーベキューディナーなどもありました。

#### 学校の施設はいかがでしたか？ (日本の在籍高校にはない教室・施設があれば教えてください)

日本では考えられないほどの広い学校の敷地内に、さまざまな施設があり充実していました。スポーツの施設はジムやスカッシュコート、スケートリンクと全てが揃っていて、理系の授業が行われるWuという建物に直結している図書館も自習スペースが設けられており勉強とスポーツどちらにも励むことができる環境が整っています。そのほかにも演劇系のクラスが行われるBlack Box、ろくろが6台もあるCeramics Room、ダンススタジオなどアート系の活動の場もあります。建物のほとんどが寄付金で建てられているのが特徴で、常に大勢のスタッフの人たちによって管理・運営されています。到着当初は右も左もわからず、あまりの広さに頭がくらくらしてしまうほどでしたが、慣れてくるとスポーツの試合で訪れ

る他のボーディングスクールに比べて、タフトはすべての建物がぎゅっと密集していて、狭い気さえしました。

### 短期・長期休暇はどのように過ごしましたか？

Long Weekend と呼ばれる短期休暇は 3 回ともキャンパスに残っていました。ほとんどの生徒は帰省しますが、留学生や西海岸出身の子などは残ります。秋の Long Weekend は NYC や近くのモールへの Bus Trip を学校側が企画していて、参加しました。冬の Long Weekend も同じく NYC へ行く予定でしたが、大雪で中止となってしまいました。春は物理の AP 試験にむけてずっと勉強しなければならず、図書館に引きこもっていました。長期休暇は日本に戻りました。春休みだけは早めにアメリカに戻り、ボストンで一週間弱ホームステイしました。日中に一人でボストンの街を散策したり、Boston Children's Hospital の lab を見学させて頂いたりと貴重な体験をさせていただきました。

## 授業について

### 授業の進め方・内容・レベルについて、日本の在籍高校との違いを教えてください。

一つの教科といっても何段階ものレベルに分かれているので、それぞれのクラスによって難しさや内容は違いますが、自分にあったレベルの勉強をできることが特徴です。ほとんどの授業でパソコンを使い、Haiku というサイトでシラバスを確認したり、宿題を Google Drive で先生と共有したり、生徒同士でファイルを共有してノートを作ったりと、効率的でした。また、私の物理の先生は独自の Youtube チャンネルを持っていて、毎單元ごとに予習・復習のためのビデオを載せてくれていました。女子高と圧倒的に異なったのはどの授業も少人数だったということです。多くても一クラス 14 人ほどで、何か疑問点があればすぐに先生に聞いて解決することができますし、内容の濃いディスカッションもありました。

## 今後の派遣留学生へのアドバイス

事前に学習すべきことは特になくと思います。実際に向こうに行ってみればすぐに Taft の独特の文化やボーディングスクールならではの雰囲気になれると思うので、心配ありません。留学前にわからないことや不安な点もあると思いますが、Taft に着けば常に周りからの手厚いサポートがあります。本当に先生方の面倒見が良く、どんなに些細なことであっても相談に乗ってくださるので、何かあったら気軽に直接話したり、メールしたりすると思います。

以上